

ポプラの森通信



第5号

2007.6.1

Aichi University Green Volunteers Society



ポプラの森運営委員長就任のごあいさつ

— 地球市民としての行動を —

愛知大学緑の協力隊「ポプラの森」運営委員長
現代中国学部長
馬場 毅



このたびポプラの森運営委員長に就任しました馬場毅です。ご存知のように愛知大学が砂漠緑化に携わって、すでに10年余の歴史があります。そして日本砂漠緑化実践協会(藤田佳久会長)が企画する緑化計画に、他の企業、ボランティア団体、大学などが企画する緑化計画に、他の企業、ボランティア団体、大学などと参加し、すでに9600本余りのポプラの植樹をしました。愛大隊の中には年配の方で何度も参加されるリピーターが多いのも特色かと思えます。さらに次代を担う学生諸君の参加も重要と位置づけ、すでに経済学部、文学部、現代中国学部では、現地でのポプラ植樹というボランティア実施と講義受講により単位を与え、正規のカリキュラムの中に位置づけて、学生諸君の参加を奨励しています。何事もそうですが、自ら現地に行き、自分の目で見、聞き、体を動かすことによって得られるものは大変多いと思えます。多くの学生諸君の参加を期待しています。

ところで中国の華北では、有史以前から北方の内陸の砂漠地帯から長い間にわたって微粒子が運ばれ、それが堆積して肥沃な黄土地帯になり、作物栽培に適し文明を育むとともに、さらに黄



土が流れ込み、河の色を黄色に染め黄河となったといわれます。これは自然の生態によるメカニズムです。しかし今問題になっているのは、この自然の生態が、人為的に破壊され変容していることです。現在中国では、急速な経済発展の中で、環境問題について中央政府は重視し対策を講じていると思えます。ただし一部の地域では地方の政府や地元の企業などは、環境問題は費用もかかり、経済発展に影響を及ぼすせいか対策は2の次、3の次になっていることが、中国の「中央テレビ」のニュースなどからも感じられます。ところで内蒙古自治区では、モンゴル高原から続く草原地帯で、毎年80万haが砂漠化しているといわれています。ただ植樹の対象となるクブチ砂漠では関連する現地の政府はそれに対して真剣に対処していると思えますし、また日本砂漠緑化実践協会もそれに協力して、多大な成果をあげていると思えます。しかしながら前述しましたように、砂漠化が急速に進んでいる影響は日本にも及んでおり、時々黄砂が降るようになってきました。経済がグローバル化するだけでなく、環境問題もグローバル化していると思えます。それに対処する我々は、日本、中国という国の枠を超えて、地球市民の一員として行動する必要があるのではないのでしょうか。今年も多くの方がこの意義ある催しに参加されることを期待しています。

私自身はまだ就任したばかりで慣れないため不十分なところも多々あるかと思いますが、ご寛恕いただき、今後もお気づきの点についてご教示、ご意見をいただければ幸いです。

愛知大学緑の協力隊

ポプラの森

愛知大学
緑の協力隊「ポプラの森」事務局

〒461-8641 名古屋市東区筒井2丁目10-31
TEL 052-937-8156 FAX 052-937-8157
e-mail: kouyu@aichi-u.ac.jp



「ポプラの森」第4次隊を派遣します!

2007年度第4次植林ボランティア隊派遣案内

「ポプラの森」通信第4号でお知らせしました2007年度派遣の実施要領が決定しました。2007年8月7日(火)から8月14日(火)まで7泊8日の日程で、いずれも中部国際空港発着です。隊長は、馬場

毅現代中国学部長が務める予定です。

詳細は、別紙募集要項をご参照ください。応募締め切りは6月22日(金)までとなっています。

募集要項(抜粋)

- 派遣地** : 中国・内蒙古自治区恩格貝クブチ沙漠
派遣期間 : 2007年8月7日(火)～8月14日(火)
募集人員 : 植林ボランティア30名(※最少催行人員25名)
申込締切日 : 2007年6月22日(金)(先着順の受付とし、定員となり次第締切とします。)
旅行費用 :

参加種別	旅行代金	日本沙漠緑化実践協会 協力費
本学学生	¥128,800	不要
大人	¥158,800	(別紙募集要項参照)
子供(小学生以下)	¥148,800	不要



●●●参加者の声●●● 「第3次隊 感想文集 Vol. 3」より抜粋

「異国のどこまでも続く砂丘の中で汗を流すことは、普段腐った生活をしている僕には快感に近いものでした。でもそれはほんの短時間しか活動していない僕だから言えることで、普段現地で管理してくれている方々の苦労はきっと大変なんだろうと感じました。もっともっと植林をしていたかったです。」

(本学学生 男性・初参加)

「なぜ今回友人を誘ったか。植林の重要性とボランティア活動のおもしろさを身近で知って欲しかったからです。」

(高校生 男性・参加4回目)

「実際活動を行ってみて、ポプラを1本植えるだけでも1m以上の穴を掘るのはとても大変で、私は4日間の活動の中で10本も植えられませんでした。」～「沙漠が一面に広がる景色は感動的でしたが、そこに森を造るというのはとても大きく大きな事に挑戦しているんだと感じました。」 (本学学生 女性・初参加)

「参加者一人一人がポプラの苗木一本一本に『元気に育て』と声をかけている姿が今でも思い浮かぶ。それぞれが、地球に恩返しをしたい、地球を守っていきたいという思いをもっていた。」

(一般 男性・参加2回目)



「遠山正瑛先生 生誕100年記念全国大会 in 鳥取」が盛大に開催

「ポプラの森」前運営委員長 佐藤 元彦



去る2月24日に鳥取市内のホテルにて、故遠山正瑛先生の生誕100年を記念して、沙漠緑化実践協会主催の「全国大会 in 鳥取」が開催された。今回の全国大会は、昨年から今年にかけて故遠山先生の生誕100周年を記念して各地で開催されてきた地域レベルでの大会を受けて開催されたものだが、全国から「遠山ファン」が100名近く参集し、盛大にとり行われた。

大会では、主催者を代表して藤田佳久・協会会長（愛知大学文学部教授）から挨拶が述べられた後、遠山先生を偲ぶ写真やビデオがスクリーンに映し出された。引き続き、参加した諸団体・個人からの活動報告がなされたが、愛知大学「ポプラの森」の活動についても報告する時間をいただき、私から、大学の創立50周年事業として始まったこと、10回目の植林事業をもって終了する予定であったが、同窓生からの強い要望もあって2004年から大学の事業として再スタートを切ったこと、さらには、学生の参加者が増えたことを背景に単位認定を開始したことなど、この間の経過と実績の概要を紹介させていただいた。また、昨年12月10日に車道校舎で開催された「草の根の集い」が成功裏に終了したことも報告させていただいた（上の写真を参照）。これらの後に、長年沙漠緑化活動に取り組んできた団体と個人に対して、内モンゴル・オールドス人民政府より感謝状が授与されたが、愛知大学の「ポプラの森」もまたその榮譽に浴する機会となった。いただいた感謝状は、校友課（車道校舎）に掲示されている。プログラムの最後には、来（2008）年にクブチ沙漠で「日中友好沙漠サミット（仮称）」を開催することなどを盛り込んだ大会宣言が採択された。

以上が「全国大会」の概要であるが、参加者の一行は、大会に先立って鳥取大学本部を訪問し、能勢学長より、鳥取大学におられた頃の遠山先生のご活躍についてお話をうかがう機会を得た。沙漠緑化の実践に傾注するあまり、大学運営にはご協力いただけなかったことなど、在りし日をほうふつとさせるお話は実に印象深いものであった。また、大会の翌日（2月25日）には、鳥取大学乾燥地研究センター、鳥根県立博物館・遠山正瑛記念資料室（鳥取砂丘こどもの国の敷地内に設置）などを訪問したが、特に、記念資料室（2005年11月開室）の展示内容（遠山先生の遺品等）は圧巻であった。遠山イズムの偉大さに、しばし時が過ぎるのを忘れた次第である。ただ、残念なことに、資料室の周辺の整備（草取り、廃物の片付けなど）は決して満足のいくものではなかった。また、資料室の案内（看板など）も十分とは言えず、周知という点でも課題が残されていると言える。

2日間のプログラムを通じて改めて痛感したのは、愛知大学「ポプラの森」の「日常的」活動を充実させていく必要があるということであった。年1回の植林事業にとどまっていたのでは、遠山イズムを継承することには決してならないであろう。中国に渡らなくとも「日常的」にできることを着実に積み重ねていくことが、「ポプラの森」を愛知大学の特色あるUSRとして定置させることにつながっていくのではないだろうか。



2007年度 運営組織について

2007年度の運営組織は以下の通りです。

役職名	氏名	任期	備考
会長	学長 武田 信照		
副会長	同窓会長 安井 善宏		
副会長	後援会長 田中 和彦	2006.6.10~2008.3.31	
副会長(運営委員長)※	学内理事 馬場 毅	2007.4.1~2009.3.31	現代中国学部長
運営委員	同窓会 藤本 茂	2007.4.1~2009.3.31	豊橋支部長
運営委員	同友会 浅井 英行	2007.4.1~2009.3.31	同友会常務理事
運営委員※	後援会 池本 和実	2007.6.16~2009.3.31	東三河支部長

※新規就任(予定含む)

役職名	氏名	任期	備考
運営委員	法人会員 荘司 吉信	2007.4.1~2009.3.31	㈱エステム 環境品質管理室 顧問
運営委員	個人会員 林 徳太郎	2007.4.1~2009.3.31	
運営委員	校友課長 樋口 裕嗣		
監事	同窓会 石川 光男	2007.4.1~2009.3.31	石川会計事務所
監事	同窓会 森下 清司	2007.4.1~2009.3.31	㈱トーエネック
幹事※	校友課 小川 晃史		

2006年度 事業報告

日程	内容	参加者等	備考
2006/6/1	ポプラの森通信第3号発行		
2006/7/31~2006/8/7	「ポプラの森」第3次隊派遣	参加者43名、植林数575本	
2006/12/1	第3次隊感想文集 発行		
2006/12/10	遠山正瑛初代会長生誕100年記念「草の根の集い」 「ポプラの森」交流会	車道校舎にて開催 参加者約100名	
2007/2/17・2007/2/18	愛知植林ボランティア交流会	校友課員参加	
2007/2/24・2007/2/25	遠山正瑛先生 生誕100年記念全国大会 in 鳥取	参加者約100名 佐藤元彦前運営委員長参加	
2007/3/1	ポプラの森通信第4号発行		

2006年度決算・2007年度予算について

2007年5月26日 本学車道校舎にて運営委員会を開催し、2006年度決算並びに2007年度予算について審議し、以下の通り承認されました。

2006年度収支報告書 2006年4月1日から2007年3月31日まで

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業費	1,400,000	1,400,000	0	
(1) 大学からの事業費	700,000	700,000	0	
(2) 共催団体からの事業費	700,000	700,000	0	
愛知大学同窓会	200,000	200,000	0	
(財)愛知大学同友会	200,000	200,000	0	
愛知大学後援会	300,000	300,000	0	
2. 会費	267,000	132,500	134,500	
(1) 法人・団体等	87,000	25,000	62,000	5団体×@5,000
(2) 個人会員会費	180,000	107,500	72,500	会費 92,500(一般91名×@1,000 学生3名×@500) 新規入会者 15名×@1,000
3. 寄付金	30,000	250,000	▲220,000	国際コミュニケーション学部 植垣教授より(1件 ¥250,000)
4. 前年度繰越金	1,499,459	1,499,459	0	
5. その他	戻入金	410,665		
合計	3,196,459	3,692,624	▲496,165	

収入の部

(単位:円)

2007年度収支予算 2007年4月1日から2008年3月31日まで

科目	2007年度	2006年度	差異	備考
1. 事業費	1,400,000	1,400,000	0	
(1) 大学からの事業費	700,000	700,000	0	
(2) 共催団体からの事業費	700,000	700,000	0	
愛知大学同窓会	200,000	200,000	0	
(財)愛知大学同友会	200,000	200,000	0	
愛知大学後援会	300,000	300,000	0	
2. 会費	240,000	267,000	▲27,000	
(1) 法人・団体等	60,000	87,000	▲27,000	継続 (5団体×@5,000) 新規 (5団体×@7,000)
(2) 個人会員会費	180,000	180,000	0	継続 (120名×@1,000) 新規 (30名×@2,000)
3. 寄付金	30,000	30,000	0	
4. 前年度繰越金	842,968	1,499,459	▲656,491	
合計	2,512,968	3,196,459	▲683,491	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 事務費	400,000	214,755	185,245	
(1) 事務費	200,000	59,880	140,120	案内送料、現像代、カメラ代
(2) 印刷費	200,000	154,875	45,125	会員募集パンフ、会費振込用紙、封筒、会員証
2. 会議費	100,000	114,748	▲14,748	
3. 事業費	2,160,000	2,000,138	159,862	
① 日本沙漠緑化実践協会賛助会費	300,000	236,000	64,000	
1) 継続会費	50,000	56,000	▲6,000	
2) 緑の協力隊参加者協力金	250,000	180,000	70,000	学生参加者18名×@10,000
② 感想文集「ポプラの森」発行費	200,000	211,050	▲11,050	
③ ポプラの森通信発行費	400,000	200,130	199,870	第3号、第4号発行
④ 現地引率等費用	300,000	466,620	▲166,620	
⑤ 現地さよならパーティー補助費	50,000	100,000	▲50,000	参加者43名×@1,500
⑥ ボランティア隊員の旅行傷害保険料	110,000	68,800	41,200	
⑦ 会員交流会	500,000	402,538	97,462	講演会、交流パーティー等
⑧ 「ポプラの森」HP更新費	300,000	315,000	▲15,000	システム改修費用(事務局より更新可能、写真掲載可)
4. 雑費	50,000	40,000	10,000	12/10物販的釣代として支出(のち戻入)
5. 予備費	486,459	480,015	6,444	
小計	3,196,459	2,849,656	346,803	
6. 次年度繰越金	0	842,968	▲842,968	
合計	3,196,459	3,692,624	▲496,165	

支出の部

(単位:円)

科目	2007年度	2006年度	差異	備考
1. 事務費	350,000	400,000	▲50,000	
(1) 事務費	150,000	200,000	▲50,000	案内送料、現像代、カメラ代
(2) 印刷費	200,000	200,000	0	会員募集パンフ、会費振込用紙、封筒、会員証
2. 会議費	150,000	100,000	50,000	
3. 事業費	1,762,000	2,160,000	▲398,000	
① 日本沙漠緑化実践協会賛助会費	250,000	300,000	▲50,000	
1) 継続会費	50,000	50,000	0	
2) 緑の協力隊参加者協力金	200,000	250,000	▲50,000	学生参加者20名×@10,000
② 感想文集「ポプラの森」発行費	250,000	200,000	50,000	
③ ポプラの森通信発行費	250,000	400,000	▲150,000	第5号、第6号発行
④ 現地引率等費用	300,000	300,000	0	
⑤ 現地さよならパーティー補助費	48,000	50,000	▲2,000	参加者32名×@1,500
⑥ ボランティア隊員の旅行傷害保険料	64,000	110,000	▲46,000	参加者32名×@2,000
⑦ 会員交流会	450,000	500,000	▲50,000	講演会、交流パーティー等
⑧ 「ポプラの森」HP更新費	150,000	300,000	▲150,000	
4. 雑費	50,000	50,000	0	
小計	2,312,000	2,710,000	▲398,000	
5. 予備費	200,968	486,459	▲285,491	
合計	2,512,968	3,196,459	▲683,491	



活動記録

愛知大学「緑の協力隊」活動記録

派遣隊	派遣期間	参加人数	植林数	備考
予備調査	1995年5月7日(日)~5月14日(日)			
第1次隊	1995年7月28日(金)~8月4日(金)	22名	1,600本	ポプラ
第2次隊	1995年9月8日(金)~9月15日(金)	22名	1,000本	ポプラ
第3次隊	1996年7月25日(木)~8月1日(木)	17名	882本	ポプラ
第4次隊	1996年9月5日(金)~9月12日(金)	15名	679本	ポプラ
第5次隊	1997年7月25日(金)~8月1日(金)	29名	750本	ポプラ
第6次隊	1998年8月23日(日)~8月30日(日)	31名	850本	ポプラ
第7次隊	1999年8月26日(木)~9月2日(木)	21名	134本	ポプラ+松+草方格270㎡
第8次隊	2000年8月24日(木)~8月31日(木)	28名	999本	ポプラ
第9次隊	2001年8月24日(金)~8月31日(金)	46名	488本	ポプラ
第10次隊	2002年8月11日(日)~8月19日(日)	48名	520本	ポプラ
合計		279名	7,902本	

愛知大学緑の協力隊「ポプラの森」活動記録

派遣隊	派遣期間	参加人数	植林数	備考
第1次隊	2004年8月11日(水)~8月18日(水)	32名	646本	
第2次隊	2005年8月23日(火)~8月30日(火)	26名	504本	
第3次隊	2006年7月31日(月)~8月7日(月)	43名	575本	北京ポプラ463本 新疆ポプラ112本
合計		101名	1,725本	
通算		380名	9,627本	

10,000本まであと373本

「ポプラの森」会員数(2007.6.1現在)

個人会員249名、法人会員9団体